

### 3. 平成17年度雑誌掲載論文等

論文等題名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
マンホール蓋の浮上・飛散に対する安全性照査手法の開発	(森博昭) (那須基) (松原誠) (藤生和也) 森田弘昭	工業用水	(社)日本下水道協会	第559号	63～74	2005. 4
北海道歌登町におけるディスポーザー導入による下水管渠への影響調査	(越智孝敏) (吉田綾子) 森田弘昭	下水道協会誌	(社)日本下水道協会	Vol. 42 No. 514	153～164	2005. 8
北海道歌登町におけるディスポーザー導入による下水処理場への影響調査	(越智孝敏) (吉田綾子) 森田弘昭	下水道協会誌	(社)日本下水道協会	Vol. 42 No. 517	103～114	2005. 11
下水管渠段差部での硫化水素放散および再曝気に関する研究	(越智孝敏) (吉田綾子) 森田弘昭	下水道協会誌	(社)日本下水道協会	Vol. 42 No. 517	128～138	2005. 11
膜分離を適用したステップ流入式多段硝化脱窒法の開発	太田秀司 村上孝雄 (瓜生昌弘)	水環境学会誌	日本水環境学会	Vol. 28 No. 11	689～696	2005. 11
下水管渠の布設及び改修状況に関する実態調査	(行方 馨) (吉田綾子) (藤生和也) (高橋正宏) 森田弘昭	下水道協会誌	(社)日本下水道協会	Vol. 42 No. 518	115～125	2005. 12

論文等題名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
下水道における高度処理技術の動向	村上孝雄	学会誌「EICA」	環境システム計測制御学会	Vol. 11 No. 1	21～24	2005. 4
下水道への膜分離活性汚泥法の適用	村上孝雄	用水と廃水	(株) 産業用水調査会	Vol. 47 No. 4	48～55	2005. 4
PVDF中空糸膜を用いた膜分離活性汚泥法 (MBR) による排水処理	(藤井 渉)	用水と廃水	(株) 産業用水調査会	Vol. 47 No. 4	48～55	2005. 4
研究最前線53 いよいよ導入が始まった膜分離活性汚泥法	村上孝雄	季刊「水すまし」	日本下水道事業団	平成17年 春号 No. 120	38～45	2005. 4
日本下水道事業団における下水汚泥等に関する調査研究	島田正夫	再生と利用	(社) 日本下水道協会	Vol. 28 No. 108	37～41	2005. 6
嫌気性発酵による下水汚泥からの水素、メタン生成	猪木博雅	再生と利用	(社) 日本下水道協会	Vol. 28 No. 108	77	2005. 6
下水及び汚泥からのりん回収技術の取り組みについて	島田正夫	環境浄化技術	日本工業出版	Vol. 4 No. 7	5～7	2005. 7
研究最前線54 汚泥を発生させない下水処理システムについてー汚泥減量化システム技術評価の概要ー	島田正夫	季刊「水すまし」	日本下水道事業団	平成17年 夏号 No. 121	44～51	2005. 7
消化ガス利用と固形燃料化を両輪にー下水汚泥を活用した温暖化対策技術を推進	猪木博雅	月刊地球環境	日本工業新聞社	Vol. 36 No. 9 通巻第 432号	110～111	2005. 8
下水汚泥バイオマス固形燃料化事業ー日本下水道事業団の取り組みー	山本博英	土木技術 1 1 月号	土木技術社			

論文等題名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
天日乾燥床の運転に影響を与えるパラメータに関する調査	猪木博雅	再生と利用	(社)日本下水道協会	Vol. 28 No. 109	60	2005. 9
研究最前線55 MBRの大規模施設導入への期待	太田秀司	季刊 「水すまし」	日本下水道事業団	平成17年 秋号 No. 122	49～54	2005. 10
「耐硫酸コンクリート・モルタルによる防食技術」～下水道コンクリート構造物の耐硫酸性の向上を目指して～	稲毛克俊	土木施工	榊山海堂	Vol. 46 No. 11	40～45	2005. 10
下水汚泥バイオマス固形燃料化事業-日本下水道事業団の取り組み-	山本博英	土木技術	土木技術社			2005. 11
MBRの大規模施設への導入に期待—その現状と課題	太田秀司	月刊 地球環境	日本工業新聞社			2005. 11
中空糸気液接触法による消化ガス濃縮技術の開発について	島田正夫	再生と利用	(社)日本下水道協会	Vol. 28 No. 110	21～24	2005. 12
バイオガスプラントにおける運転、施設条件の与える影響	猪木博雅	再生と利用	(社)日本下水道協会	Vol. 28 No. 110	42～43	2005. 12
活性汚泥モデルの実務利用に関する技術評価	糸川浩紀 中筋康之 村上孝雄	季刊 「水すまし」	日本下水道事業団	平成18年 冬号 No. 123	19～30	2006. 1
膜分離活性汚泥法と高度処理技術の展望	村上孝雄	下水道協会誌	(社)日本下水道協会	Vol. 43 No. 519	7～12	2006. 1
地球温暖化と下水道	森田弘昭	水環境学会誌	日本水環境学会	Vol. 29 No. 2	62～66	2006. 2

論文等題名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
下水道における膜分離技術の導入の現状と今後の展望	村上孝雄	環境技術	環境技術学会	Vol. 35	8～13	2006. 3
既存下水処理施設の高度処理への機能向上	石井 宏和	月刊 下水道	環境新聞社			2006. 3
下水汚泥有効利用促進の取り組みについて	島田正夫	再生と利用	(社)日本下水道協会	Vol. 29 No. 111	41～50	2006. 3
下水汚泥のバイオマス固形燃料化について	島田正夫	再生と利用	(社)日本下水道協会	Vol. 29 No. 111	74～76	2006. 3
2ステップ式水素、メタン反応システムの開発	猪木博雅	再生と利用	(社)日本下水道協会	Vol. 29 No. 111	91	2006. 3
バイオマス固形燃料化の概要	山本博英	資源環境対策	環境コミュニケーションズ	4月号		

注：(著者名) は J S 技術開発部以外